



# なのみ通信

令和3年度 筑前町立東小田小学校 学校通信 5月14日 第3号



## タブレットで学びを拓こう！

全校に設定が完了していませんが、少しずつ手探りでチャレンジしています。お楽しみに。

5月12日(水)、新型コロナウイルスにかかわり本県に3度目の緊急事態宣言が発令。523名の子ども達、50名の職員の生命を守り、教育の灯を消さぬ静かな闘いを粘り強く強化継続しているところです。それぞれのご家庭での対策とご理解には、本当に感謝申し上げます。共に頑張りましょう。

## ◇ 心を受け継ぐ ◇

今週、心温まる贈り物をいただきました。週に一度、職員にパンを販売に来られる障がい者就労支援施設くるみ苑の理事、中田武夫さんです。筋ジストロフィーを患った娘さんが以前使用されていたという車いすに手を加え、台車にして



本校に寄贈くださいました。娘さんを長年支えてきた車いす。彼女を見守ってきた父親の心…。「廃棄物にならなくてよかったです。」帰り際に中田さんがぽつりとおっしゃった言葉が胸に残っています。大切な贈り物を大事に、有効に活用させていただきたいと思います。

## ◇ 通学路 その十四 ◇

先週から突然のアレルギー症状等に見舞われて、朝の交差点を数日お休みしました。

復帰した日、気にかけてくれていたのか

「(最近) いなかったね。」

と声をかけてくれたり、喉を痛めて声が枯れていたことを話すと

「(交差点に來なかつたのは) いじられるからやろ。」

と、笑わせてくれたりして、嬉しくなつた朝でした。

今日も通学路には、いつもながら小学生が様々な表情でやってきました。

また、自転車に乗った中学一年生が大きめの真新しいヘルメットをかぶり通過して行きます。交差点から中学校へと向かう道は緩やかな登りが続き、ペダルをこぐのにも力が要ります。この春本校を巣立ったあの子達も、新天地での生活への希望や緊張等、様々な思いを自転車に乗せ、ペダルをこいでいきます。新調の制服にヘルメット、まだあどけない表情で新天地へ向かう姿に励まされます。

ふと気づくと、バス停に向かう女子高生も様々な制服でやってきました。髪をなびかせたハイティーン達が、足早に爽やかな風を残して通過していきます。あまり見とれると怪しまれるので、急いで小学生に視線を移します。

朝の通学路は、さまざまな学び人たちが行き交い、まるでここは学園都市です。

学び人が行き交う街には、自然に活気が生まれます。人々の暮らしにとって、学び人は、子ども達は、そして学校は、何と大切な存在なのだろうかと思ふかされまふ。

黄金週間明けの一週間、みんな連休への未練を越えて頑張りまふ。梅雨入り間近の「なのみ学園通り」は今朝もにぎやかです。